

難病の方とそのご家族の方の災害時の対応について

突然、**災害**が起こった時に備えて！

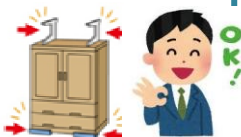
- ◆ 地震や風水害などの災害はいつ起こるかわかりません。大規模な災害時は、電気・ガス・水道などのライフラインが途絶え、家屋の倒壊や家具の転倒などにより医療機器が壊れるなどの事態が予測されます。
- ◆ 災害が起きた時に、落ち着いて対応するためには、日頃からお薬や必要な物品など、準備すべきことや、災害に備えるポイントについて、このチラシを参考に確認しておきましょう！

災害に備える **ポイント**



①部屋の安全点検対策

地震によって家具等が倒れないように、大きな家具は固定したり、寝室には家具を置かない等、配置等も工夫しましょう。



②避難所、避難ルート、連絡方法の確認

地域の避難場所や移動手段等について、普段から確認しておきましょう。



③緊急時対応の相談

緊急時の対応については、あなたの支援者（主治医、介護支援専門員など）と日頃からよく相談しておきましょう。



④日頃から隣近所の協力体制

災害時、頼りになるのはご家族とご近所の方々です。避難する場合、自主防災組織や隣人の方の支援を受けられるように事前に依頼しておきましょう。



⑤医療処置、特殊なお薬の準備

普段内服している「薬や栄養剤等」は、**最低3日分**を用意し、お薬手帳とともに非常時に持ち出せるよう準備しておきましょう。医療処置が必要な方は、医療用具や衛生材料の予備を準備しておきましょう。



⑥医療機器の停電対策

電気を使う医療機器（人工呼吸器・吸引器等）を使用されている方は、停電時の対策について、日頃から、業者さんや主治医に相談しておきましょう。



糸島地域難病対策実務者会議作成（平成29年6月）

【事務局】福岡県糸島保健福祉事務所 健康増進課健康増進係

☎（092-322-1439）

災害時の備えについて、チェックしてみましょう！

災害時、本格的に救済開始やライフラインが回復するのに、3日かかると言われています。**3日間72時間**を乗り越えるために、普段から必要な物を準備して1カ所にまとめておきましょう。

○防災のための家庭での備え（確認できたら☑しましょう）

- 避難所、避難方法等について、家族と一緒に確認しておきましょう。
- 日頃から、近隣住民の方と交流を深めておきましょう。
- 家の周囲、家屋や室内の危険箇所について確認しておきましょう。
- 家具など、転倒を防ぐためしっかり固定しておきましょう。
- 生活必需品は、3日分くらいは準備しておきましょう。
- 毎日服用が必要な「くすり」は、3日分（できれば1週間分）は準備しておきましょう。
- かかりつけ医とは、連絡方法や災害時の対応について事前に相談しておきましょう。
- 緊急時に搬送が必要な場合は、状況に応じて、かかりつけ医、訪問看護師、保健所や市町村職員、消防署員等と、対処方法について事前に相談しておきましょう。

【非常時持出品リスト（参考例）】

- おくすり手帳 ○健康保険証 ○特定医療費（指定難病）受給者証 ○身体障害者手帳等の各種手帳 ○重度障害者医療証 ○介護保険証 ○身分証明書 ○くすり3日分（できれば1週間分）○医療機器（人工呼吸器、酸素療法等）にかかる必要物品 ○食料品等（飲料水含む）
- 衣類等 ○貴重品や日用品（軍手、懐中電灯、携帯ラジオ等）等

○こんな情報、ご存じですか？（あなたのまちの防災情報）

- ★ 糸島市防災ハンドブック「わが家の防災ハンドブック」
糸島市が災害への備えと災害発生時の対処法をまとめたもので、全戸配布されています。
<お問い合わせ先>
糸島市総務部危機管理課 防災・防犯係 ☎092-332-2110
<http://www.city.itoshima.lg.jp/s004/010/010/010/030/010/bousaihandbook.html>

- ★ あなたの地域の避難場所を確認しましょう
「わが家の防災ハンドブック」やインターネットで確認することができます。
<http://www.city.itoshima.lg.jp/li/kurashi/090/010/020/index.html>

- ★ 防災メール「まもるくん」を登録しましょう（福岡県が提供する防災情報等メール配信システム）
災害に関する情報収集の一つとして、登録しましょう。
<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/mamorukun/>